

ヨコハマモールド (株) CSRレポート

事業内容: タイヤ金型製造販売
敷地面積: 16,563m²
従業員数: 76人 (2011年12月末現在)
所在地: 〒311-3436 茨城県小美玉市上玉里2227-1
相談・苦情などの受付窓口:
 総合管理部 TEL: 0299-26-1417 FAX: 0299-26-3316



社長ご挨拶



小松 滋夫

当社は、2009年8月に、1916年にまでそのルーツをさかのぼる企業グループから横浜ゴムグループの一員となりました。茨城県の中南部、筑波山を望む霞ヶ浦北岸に位置しており、タイヤ金型の製造販売を行っています。

2010年にISO14001の認証を取得、温室効果ガスの排出削減に向けた徹底した省エネ活動など、環境対応生産を実施しています。また、ゼロエミッションへの取り組みや横浜ゴムグループ千年の杜づくりの活動を通じ、従業

員の環境活動に対する認識を深めています。

「一人一人が自己のレベルアップ計画を達成しよう」の方針の下、技術の向上や作業の効率化による省源化・環境保全を推進し、「トップレベルの環境貢献企業」を目指して、日々の活動に取り組んでいきます。

環境経営の推進

環境マネジメント

環境方針

- ヨコハマモールドは、自ら定めた環境マネジメントシステムに従い、環境経営の持続的改善を行います。
- 心と技術をこめたモノづくりにより、幸せと豊かさに貢献し、社会的責任として「環境に貢献する改善」と「環境リスクの予防」を継続的に企画し、実践します。
- 環境法規制とその他の環境に関する要求事項を厳守し、環境保全に取り組みます。
- 限りある地球資源を守るため、そのムダ使いを防止する行動(MD)を実践し、3R*)を推進します。
(*): Reduce: 発生抑制、Reuse: 再使用、Recycle: 再生使用
- 本方針を具現化するため、目的・目標及び計画を作成し、実行します。
- ヨコハマモールドで働くすべての人が、本方針を理解し行動するよう教育と啓発を行い周知徹底します。
- 自然との調和・融合をもとに美しく豊かな社会形成に貢献し、地域との共生を目指します。

環境データ

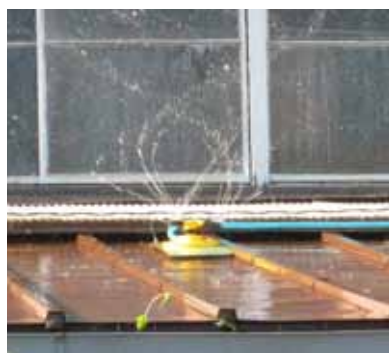
項目	2009年度	2010年度	2011年度
廃棄物発生量(t)	—	158	123
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	0.38	0.56	0.6
水使用量(千m ³)	—	1,946	0.2845

環境課題への取組事例

CO₂削減の一環として節電にも取り組んでいます。夏場は、“グリーンカーテン”や“屋根に井戸水を利用したスプリンクラー”を設置し冷却、冬場は、梱包用クッション材を断熱材代わりに工場・事務所の窓や扉のガラス部分に貼って、エアコン効率Upや結露防止に活かしています。これらの活動と並行して、電力監視装置(デマンドモニター)を設置し監視と対応を継続しています。



グリーンカーテン



スプリンクラー



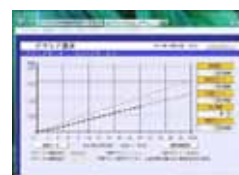
窓断熱



窓断熱



デマンドモニター



デマンドモニター

安全基本方針

安全基本方針に従い、従業員に対する職場安全衛生教育・交通安全教育に取り組んでいます。



正門でのシートベルト点検

ステークホルダーコミュニケーション

地域社会とのかかわり

- ・従業員家族・地域の方々と共に、「家族ふれあい祭り」を開催し、親睦を深めました。また、お祭りの中で震災チャリティーオークションを行い東日本大震災義援金として寄付を行いました。



- ・会社周辺道路に積もった雪が凍結し危険なため、除雪作業を行いました。



- ・中学校の職場体験や高等専門学校インターンシップを行い、教育活動に参加しています。



職場体験学習



インターンシップ

- ・小美玉市社会福祉協議会、小美玉市企業連絡協議会、玉里工業団地連絡協議会に参加し、地域との連携を図っています。

YOKOHAMA千年の杜プロジェクト

工場の存在自体を、環境に良い影響を与えられるものになりたいと考え、「YOKOHAMA千年の杜」に参加し、植樹活動および育苗活動を行っています。

